

# リスク管理

情報、ITはいまや企業にとって重要な経営資源、インフラストラクチャとなっている。組織のIT整備に要するコストは増大する方向にあるが、変化の早い企業環境においては整備された情報システムが必ずしも経営戦略・事業方針と合致しないなどの失敗例もあり、IT投資にはリスクも伴う。



日本情報システム・ユーザー協会の「企業IT動向調査2007」によれば、06年度のIT予算額を増加させた企業は全体の52%に達し、平均予算額も22億3500万円に達している。

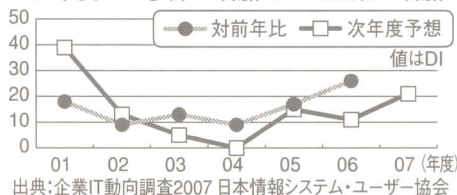
しかしながら、IT投資の目的が、単なる現場の合理化から経営革新へと大きく変化しつつある中、これらの投資がすべ

## リスクマネジメント

### ABC

## IT投資

### 06年度はIT予算を増加させた企業が増加



## 管理手法、重要な課題

て有効な投資となっている訳ではない。情報システムは急速な技術革新とともに複雑化しており、それに伴い様々なリスクが顕在化してきている。したがって、このような情報システムにまつわるリスクを適切にコントロールすることが組織の重要な経営課題となっている。

このような背景のもと、経済産業省は04年10月に「システム管理基準」を策定・公表している。この中で、組織がリスクに対するコントロールを適切に整備・運用する目的を、次のように規定している。

- ・ 情報システムが、組織体の経営方針及び戦略目標の実現に貢献するため
- ・ 情報システムが、組織体の目的を実現するよう、に安全、有効かつ効率的に機能するため
- ・ 情報システムが、内部又は外部に報告する情報の信頼性を保つことに機能するため

情報システムが、関連法令、契約又は内部規則等に準拠するようにするため

これらは、情報システムの合目的性、有効性、効率性、安全性、信頼性、法令準拠を目指すものであり、このシステム管理基準は情報システムを効果的なIT投資とするための実践規範として次のような範囲について287項目を規定している。

- ①情報戦略②最適化、組織体制、情報化投資、情報資産管理の方針、事業継続計画、コンプライアンス
- ②企画業務③開発計画、分析、調達
- ③開発業務④開発手順、システム設計、プログラム設計、プログラミング、テスト
- ④運用業務⑤運用管理

ルール、運用管理、入力管理、データ管理、出力管理、ソフトウェア管理、ハードウェア管理等

- ⑤保守業務⑥保守手順、保守計画、保守実施、保守確認、移行、廃棄
- ⑥共通業務⑦ドキュメント管理、進捗管理、品質管理、人的資源管理、委託・受託、変更管理、災害対策

組織においては、これらの管理基準に則って、主体的に経営戦略に沿って効果的な情報戦略を立案し、その戦略に基づき情報システムの企画・開発・運用・保守というライフサイクルを実行することが適切だ。これらの基準の遵守を組織に浸透させることが、ITに係わるリスクを低減するとともに、組織のITガバナンス確立に寄与するだろう。(日本総合研究所)